

「パートナー生薬学 改訂第2版」

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年度改訂版）対応一覧

2015.3 (株) 南江堂

改訂薬学教育モデル・コアカリキュラム		本書の対応章
C 薬学基礎		
C5 自然が生み出す薬物		
(1) 薬になる動植物		
①薬用植物	1. 代表的な薬用植物の学名、薬用部位、薬効などを挙げるができる。	各論
	2. 代表的な薬用植物を外部形態から説明し、区別できる。(知識、技能)	総論3章、各論
	3. 植物の主な内部形態について説明できる。	
	4. 法律によって取り扱いが規制されている植物(ケシ、アサ)の特徴を説明できる。	
②生薬の基原	1. 日本薬局方収載の代表的な生薬(植物、動物、藻類、菌類由来)を列挙し、その基原、薬用部位を説明できる。	各論
③生薬の用途	1. 日本薬局方収載の代表的な生薬(植物、動物、藻類、菌類、鉱物由来)の薬効、成分、用途などを説明できる。 2. 副作用や使用上の注意が必要な代表的な生薬を列挙し、説明できる。	
④生薬の同定と品質評価	1. 生薬の同定と品質評価法について概説できる。	総論5章
	2. 日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。	付録
	3. 代表的な生薬を鑑別できる。(技能)	各論
	4. 代表的な生薬の確認試験を説明できる。	付録
	5. 代表的な生薬の純度試験を説明できる。	
(2) 薬の宝庫としての天然物		
①生薬由来の生物活性物質の構造と作用	1. 生薬由来の代表的な生物活性物質を化学構造に基づいて分類し、それらの生合成経路を概説できる。 2. 脂質や糖質に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。 3. 芳香族化合物に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。 4. テルペノイド、ステロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。 5. アルカロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明できる。	総論4章、各論
E 医療薬学		
E2 薬理・病態・薬物治療		
(10) 医療の中の漢方薬		
①漢方薬の基礎	1. 漢方の特徴について概説できる。 2. 以下の漢方の基本用語を説明できる。 陰陽、虚実、寒熱、表裏、気血水、証	総論7章
	3. 配合生薬の組み合わせによる漢方薬の系統的な分類が説明できる。 4. 漢方薬と西洋薬、民間薬、サプリメント、保険機能食品などの相違について説明できる。	
②漢方薬の応用	1. 漢方医学における診断法、体質や病態の捉え方、治療法について概説できる。 2. 日本薬局方に収載される漢方薬の適応となる証、症状や疾患について例示して説明できる。 3. 現代医療における漢方薬の役割について説明できる。	
③漢方薬の注意点	1. 漢方薬の副作用と使用上の注意点を例示して説明できる。	